

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和4年度（2022年度）第2四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

・今年度の第2四半期の来館者数は4,041人で、前指定管理期間の第2四半期の平均来館者数4,930人に対して約82%の来館があり、来館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上であることを確認した。

・今年度も昨年度同様、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(4,930人)と比較すると減少した。理由としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたことによるものと考えられる。一方、昨年度の第2四半期と比較すると1,575人増加しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響に人々が適応しながら経済活動を再開したため、今四半期の来館者数が増加したと分析する。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

・保守点検を計画どおり、適切に実施した。

● 施設の運営

- ・展覧会のチラシやポスター等を作成し、周知を積極的に実施した。
- ・窓口における受付及び施設案内を適切に実施した。
- ・SNSを活用し、館及び展覧会の周知を積極的に実施した。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

・7月2日から9月11日までの企画展では、季節の移ろいを、清方の作品を通して紹介しており、来館者が複数回来ても楽しめるよう、会期中で展示替えを実施した。また、9月15日から9月30日まで特別展を実施し、さらなる来館者の増加を図った。

*展示替 7月は66点、8月は18点、9月は72点の展示替をそれぞれ実施した。

・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、展示解説は実施しなかったが、これに代わる解説動画をYouTube上で公開し、鏑木清方の普及に努めた。(再生回数は104回)

・今期は普及事業として、「夏休み親子鑑賞」、日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう!」と「砂子を用いて、日本画を描こう!」、子ども参加プログラム「日本画の技法、垂らし込みを使って、絵を描いてみよう!」及び「石版画の仕組みを体験してみよう!」を実施し、すべての回で定員を上回る応募を得た。

● その他必要な業務

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、入館者の検温や、館内の換気・清掃等を実施した。
- ・鏑木美術品の調査研究を実施した。

4 楠木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品の所在確認を7月29日、9月6日及び29日に実施した。結果は、良好であった。
- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。

● 調査・研究

7月

- ・清方が手がけた石版画ポスターに関する調査
- ・清方のスケッチに描かれた植物に関する調査
- ・『少年世界』『少年界』に関する調査
- ・久留島武彦、巖谷小波に関する調査
- ・清方の日記に関する調査
- ・永井荷風『腕くらべ』に関する調査
- ・『少女世界』『少女界』の調査
- ・明治30年代日本青年絵画協会の調査
- ・明治期挿絵画家の展覧会出品履歴の調査
- ・個人蔵の清方作品の調査

8月

- ・子ども向け鑑賞イベントの実例調査
- ・小規模館におけるアウトリーチ活動についての調査
- ・《桜もみぢ》に描かれた着物の模様についての調査
- ・沢千鳥文様の由来についての調査
- ・少女雑誌の調査
- ・個人蔵の清方作品の制作年に関する調査
- ・清方の日記に関する調査
- ・『少年世界』に関する調査
- ・久留島武彦に関する調査
- ・子どもを描いた清方作品に関する調査

9月

- ・清方のスケッチに描かれた植物に関する調査
- ・日本舞踊「羽根の禿」に関する調査
- ・日本舞踊「春駒」に関する調査
- ・清方作品《肩させ裾させ》《葛飾早春》《野路の玉川 萩花に美人の図》の制作年調査
- ・《夜の雪》《朱華芬芳》実見調査
- ・榎本千花俊《羽根の禿》に関する調査
- ・『少女界』の調査
- ・『少年世界』の調査
- ・巖谷小波、久留島武彦に関する調査
- ・明治時代の挿絵画家に関する調査
- ・清方の日記の調査

いずれも計画どおり調査・研究を実施した。
出版物の管理及び保管を適切に実施した。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。
- ・市民への周知として市広報に展覧会の情報を掲載した。
- ・市役所本庁舎の来庁者への周知として展覧会情報を市役所モニターに掲載した。

● 事故・苦情対応

・8月5日のワークショップ参加者の体調不良に対し、適切に対応した。

● その他

- ・全国博物館会議に出席した。
- ・実習生の受入れを実施した。
- ・教育施設への講師派遣を行った。

6 全体評価

・第2四半期の来館者数は4,041人で、昨年同期間の2,466人に比べて、1,575人・約63.9%分増加した。

・今年度も昨年度同様、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(4,930人)と比較するとやや伸び悩んでいるが、前指定管理期間の年間来館者数の平均値(24,020人)と比べると、半数近い人数は集客出来ている。これらのことから新型コロナウイルス感染者数が高止まりしている中で、この人数を集客できたことは、徐々に回復傾向に転じていると言える。引き続き、魅力ある展示を行い集客に繋げることを期待する。

・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら夏休みの子どもや保護者を対象にしたイベントやワークショップだけではなく、一般の方に向けたワークショップなどを実施し、参加者から好評を得ている。また、新たに子ども向け冊子を作成し、それを基にワークショップを実施しており、若年層への日本画や美術の普及に努めており、継続することを期待する。

・館で実施する子ども参加プログラム以外に、教育普及活動に柔軟に対応し、社会見学の受け入れや出張ワークショップを実施しており、子どもに向けて積極的に日本画に触れる機会を提供していた。

・寄贈を受けた作品・資料の調査・研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果を活かし展示等事業内容の充実を図るよう積極的に取り組まれたい。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鍋木清方記念美術館 令和4年度第2四半期判定評価

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0
総 計	122		

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

特記事項
特になし。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%